



安全・安心に暮らせるまちに—
議員一同の力を結集して対応します—

白石市議会議長

佐藤 英雄
Sato Hideo



地域の豊かな資源を活かし—
人・経済・文化・情報が行き交うまちへ—

白石市長

風間 康 静
Kazama Kojo

市 民の皆さま、明けましておめでとうございます。ごさいます。「ご家族おそろいで輝かしい新年をお迎えのことと、お喜び申し上げます。また、日々、市議会に温かいご理解と絶大なご協力をいただき、心から感謝を申し上げます。

さて、全国的に厳しい経済情勢の中、やや回復の兆しが見えたとはいえ、本市においては依然として厳しい状況にあります。その一方で、扶助費をはじめとする社会保障費や教育費、各種施設の修繕費などの経常経費は増大しております。

このような状況の中、「白石市行財政改革推進計画（集中改革プラン）【改訂版】」に基づき、一層の行財政改革に努めることと、子育て支援など重要な施策は、より質の高い行政サービスの提供を目指しています。また、現在進められている「第五次総合計画」との整合性に向けた取り組みがなされております。

議会としても、喫緊の課題である企業誘致に向け、各種セミナーに参加するなど、積極的な行動を心掛けております。また、昨年の9月定例議会においては、「白石市議会の議員及び白石市長の選挙における電磁的記録式投票機に関する条例（電子投票条例）」の一部を改正する条例を、議員提出議案により提出しました。電子投票と自書式投票のコストや、国の電子投票に向けた動向が不透明であること、導入する自治体が増えないため企業が電子投票事業から撤退した経緯など、活発な質疑応答がなされ、賛成多数で「本年4月執行の市議会議員選挙」は電子投票を休止し、自書式投票を行うことを議決しました。

新 年明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと、お喜び申し上げます。

おかげさまで「白石城主片倉小十郎公」の人氣から本市には多くの観光客の皆さまにおいでいただき、「第3回鬼小十郎まつり」を始め、市民の皆さまのご協力によりにぎわいを創出できたことを大変感謝しております。

本市では今まさに、平成32年度を目標とする新しい総合計画「第五次総合計画」の策定作業に取り組んでおります。新総合計画の策定には多くの市民の皆さまにご参加いただき、ご意見をいただきながら、作業を進めているところです。

私は計画の中で、今後の10年を見据え、人口減少社会と少子高齢社会の進展に対応し、雇用確保のための企業誘致や、子育て支援対策、安全・安心なまちづくりなど、直面する重要な課題を克服していく取り組みをさらに進めていきたいと考えております。

また、本市の豊かな自然環境、歴史・伝統、生活文化などの地域資源を活かし、人・経済・文化・情報などが行き交う「交流拠点都市」を形成したいと考えております。交流人口を拡大することで地域の活力とにぎわいを創出し、市民の皆さまの安定的な暮らしの実現や持続的発展につなげる取り組みを戦略的に展開していきます。

政治や経済、国際関係など、本市を取り巻く情勢は依然として流動的であり、また、多くの地方自治体の財政事情は、極めて深刻な状況です。このような中、本市がどの

ように発展していけるかは、いかに私たち市民一人一人が力を合わせ、垣根を越えて互いに協力していくにかかっています。

新しい第五次総合計画は、市民の皆さまの総合計画です。そして、まちづくりの主役は市民一人一人です。本年も、市民の皆さまとともに、白石市の明るい未来のため精いっぱい取り組んでまいりますので、ご支援、ご協力をお願いいたします。

結びに、皆さま方のこの一年のご健勝と「ご多幸を」祈念申し上げます、年頭のごあいさついたします。

市議会では、今後とも市政の諸課題に的確に対応すべく、議員各位の力を結集し、議会活性化はもとより、市民の皆さまが「安全・安心に暮らせるまちづくり」にしっかりと対応するため、議員一同決意を新たにしております。

市民の皆さまにおかれましては、今後とも格別なご協力とご支援をたまわりますようお願い申し上げます。

本年も、皆さまにとりまして幸多き年でありますよう、議員一同、「ご祈念申し上げます、年頭のごあいさついたします。



2011新年のごあいさつ
～卯年への誓い～

白石市にとって本年が「**兎の登り坂**」でありますように—

※兎の登り坂＝兎は後ろ足が長く、後ろ足を巧みに使い坂を登ることから、持ち前を発揮し物事が順調に進むことのたとえ。